

# 令和7年度 浄土宗人権センター活動報告



浄土宗21世紀  
人権アピール

あなたとわたし  
ちがうからステキ  
出会えてよかった  
あなたのいのち  
わたしのいのち

## 1. 浄土宗人権センター

平成31年（2019年）4月より新たな体制で浄土宗人権センターが開設し、浄土宗の人権問題に取り組むきっかけとなった部落問題をはじめとした、さまざまな人権問題に対して啓発活動を行っております。

さて、令和5年度（2023年度）5月から、新型コロナウイルス感染症対策による制限が緩和・撤廃され、社会経済活動が徐々に戻ってきました。コロナ禍の間では人権問題として、感染者や関係者家族等への偏見に基づく根拠のない差別、コロナ禍で浮き彫りとなりました貧困や生活困窮など、生きていくために必要な権利が脅かされる等々、多種多様な問題に直面することとなりました。コロナ禍後の6月には、LGBTQ 理解増進法が公布・施行される等社会においても人権問題が注目されており、多岐にわたる人権問題への取り組み等、積極的に人権と向き合うことがより必要となっています。

また、平成27年（2015年）に、すべての国の人々が誰も取り残されない社会を令和12年（2030年）までに実現するため、国連総会首脳会合でSDGs（持続可能な開発目標）が合意されました。この内容は人権尊重の考え方が基本にあり、開発目標の17項目のなかには、ジェンダー平等や貧困をなくすこと、平和と公正等と、人権問題への取り組みが多く含まれています。

人権センターでは、SDGsは法然上人の万人平等の教えとも合致することから、浄土宗21世紀人権アピールを活用しながら啓発活動について検討を進めております。

今後も、さまざまな人権問題に対応するために、引き続き啓発活動等に注力してまいります。

## 2. 浄土宗差別戒名物故者追善法要

平成26年度（2014年度）までの差別戒名物故者追善法要は、「僧侶全般の意識啓発と人権意識の向上を図るため」として、平成8年（1996年）から平成26年（2014年）まで19回に亘り地方教化センターの協力を得て厳修してきました。

しかし近年では、差別戒名墓石の関係者である寺院住職、継承者の出席が減少し、出席者の多くは役職として出席している方々が多い傾向になっている状況であります。平成27年度（2015年度）から

は、より多くの教師にご参加いただけるように各地方教化センター、平成30年度（2018年度）からは各地区で開催の教化高等講習会に併修し、厳修することで、差別戒名物故者追善法要を通して、僧侶全般の意識啓発と人権意識の向上を目指しています。適格

令和7年度（2025年度）は、差別戒名物故者法要を全6地区で開催があり、主催教区のご尽力もあって、厳修する運びとなりました。



地区による差別戒名物故者追善法要

また、法要と併せておこなっていただく人権研修会は、浄土宗人権同和啓発講師の講演により、差別戒名問題など、さまざまな人権問題について研鑽していただきました。

さらには、法要が終了した地区や教区において教化高等講習会のなかで人権啓発研修会として、主催教区が主体となって人権研修の企画を行い、研修が行われました。

今後、地区での法要は順次終了していきますが、終了した地区においても法要の厳修と人権研修会の実施を引き続きお願いいたします。



人権研修会の様子

### **3. 差別戒名墓石改正**

本宗には、法然上人の万人平等のみ教えに反して、時代と迎合し「差別戒名」を付与する等、差別に加担した消すことの出来ない恥ずべき事実があり、差別戒名墓石の改正は、昭和58年（1983年）の同和推進事務局（現在は人権センター）の設置以来、長年取り組みの課題となっております。

取り組みの結果、関係者の理解のもと、供養塔の建立をはじめとした改正作業が多くの寺院で完了いたしました。

しかしながら、未だ5ヶ寺の改正が残っている状況ですので、今後も引き続き改正作業が進むよう積極的に取り組んでまいります。

### **4. 教区人権同和研修会開催及び差別戒名物故者追善法要厳修の勧奨**

人権センターでは、教区での人権同和研修を推進するため、各教区に対して人権同和研修会開催の勧奨を行っています。多岐にわたる人権課題の中から、各教区において、研修するテーマを定めて、研修を行っていただいています。

また、平成30年度（2018年度）より、各地区の協力を得て厳修しております教化高等講習会での差別戒名物故者追善法要について、さらにすそ野を広げるため、教区での差別戒名物故者追善法要の厳修をお願いしており、近年では、北海道第一、埼玉、富山、静岡、兵庫、鳥取、熊本教区にて開催された教化高等講習会並びに福島、三河、滋賀、出雲、広島のみで普通講習会等の場において法要を厳修いただいています。

なお、佐賀教区においては、人権センターからの勧奨以前の平成5年（1993年）より法要を厳修いただいております。

## 5. 教区人権同和委員長連絡会

令和6年度（2024年度）教区人権同和委員長連絡会を浄土宗教化研修会館大ホールで開催しました。

令和6度（2024年度）は、人権センターからの事務連絡の後、浄土門主伊藤唯眞猊下ならびに平和協会理事長廣瀬卓爾さんから「戦争と人権」と題して、戦後80年を迎えるにあたり戦争によって人びとが生きるために必要なさまざまな権利、ひいては生存権までが奪われる実態や人権とは何かをご講義いただきました。

令和7年度（2025年度）については、引き続き人権研修を行う際の参考となるよう、講師を招き講演を行ってまいります。

## 6. 人権同和啓発講師研修会

令和7年度（2025年度）は、11月4日から6日の3日間、北海道において「アイヌ問題」をテーマに研修会を行いました。

今回の研修では、二風谷のコタンにあるアイヌ文化博物館及び白老のウポポイにあるアイヌ民族博物館にて、北海道の歴史と文化の源泉を学びました。また、アイヌ民族の木村二三夫さんから現在に至るまでのアイヌ遺骨問題返還運動についてご講義いただきました。

次に、有珠の善光寺（北海道第一教区）では、木立真理さんから蝦夷三官寺の1カ寺として、当時、北海道における組織的伝道活動を行った裕誉荘海上人、鳳誉鸞洲上人などのお話をご講義いただきました。

最後に、3日間ご同行いただきました、北海道教育庁北海道アイヌ教育相談員の竹内渉さんから「旧土人保護法」などのアイヌ民族が受けた民族差別の問題を歴史的背景などからご講義いただきました。

今回の研修を通して、民族の歴史・文化を身近に感じ、民族差別を考える機会となった研修会となりました。

*（令和8年度：岐阜予定）*



ウポポイにあるアイヌ民族博物館



アイヌ民族 木村二三夫さんのご講演の様子



蝦夷三官寺の1カ寺の善光寺

## 7. 実践講座における人権学習開講

令和6年度（2024年度）は「楽しく学ぶ人権-AIと人権問題・人権感覚のアップデート-」をテーマに、近畿大学人権問題研究所特任主任教授北口末広さん、浄土宗人権同和啓発講師の高橋宏文さんを講師に迎えて実施しました。

講義では、AIの進化は、人手不足の解消及び生産性や利便性の向上等様々な側面で社会に大きなメリットをもたらしましたが、その反面で、新たな人権リスクが発生している件について指摘がなされ、様々な場面での人権問題が取り上げられていることについて事象を上げて説明がなされました。

令和7年度（2025年度）については、「楽しく学ぶ人権-ハンセン病と人権-」をテーマに、ハンセン病に対する正しい知識の習得、人権意識を高めていただける講義を開講する予定です。

## 8. 啓発グッズ第8弾 ポーチの配布

人権センターでは、12月4日から10日の人権週間にあわせた啓発活動として、多くの寺院の皆様へ人権を考えていただくきっかけになるよう人権啓発グッズを作成し配布しております。

令和7年度（2025年度）は、浄土宗人権アピールとロゴマークを印刷した「ポーチ」を全寺院にお配りさせていただきました。普段の小物の持ち運び等で活用いただき浄土宗人権アピールのPRにご協力頂きますようお願いいたします。



7年度 ポーチ



R6年度 日本手ぬぐい



R5 年度巾着

## 9. 人権アピールロゴマーク

平成13年（2001年）12月に発表された「浄土宗21世紀人権アピール」が、令和3年（2021年）12月で20年を迎えるにあたり、ロゴマークを作成いたしました。

ロゴマークには、私たち一人ひとりが個性豊かな人間であることを確認し、自分や仲間と違うからといって、人を傷つけたり、いじめたり、差別したりせず、法然上人が説かれたお念仏の心で、明るく正しく仲良く平等に生きていくとの思いが込められています。

このロゴマークは、教区内のお知らせ等にもご使用いただけますので、ご希望の方は人権センターまでお問い合わせください。



あなたとわたし ちがうからステキ  
出会えてよかった  
あなたのいのち わたしのいのち

## 10. 『和合』での人権課題に関する連載

人権センターでは、平成30年度（2018年度）4月号から『和合』において人権啓発に関する連載を行っています。

令和7年度（2025年度）は、京都華頂大学非常勤講師の田中真美さんに、「人権、いのち、心の教育をハンセン病に学ぶーいのちをそっと抱きしめて」をテーマに浄土宗においても深く関わりのある「ハンセン病」をテーマとし、ハンセン病に対する問題を私達の問題として正しく理解するために、関心を持ち続けていかななくてはいけないことについて連載をいただいております。

人権、いのち、心の教育を

ハンセン病に学ぶ

ーいのちをそっと抱きしめて



## 1.1. 『浄土宗人権教育シリーズ』

研修会等で教材として使っていただくため、啓発冊子「浄土宗人権教育シリーズ」を刊行しています。  
是非、積極的にご活用いただきたいと存じます。

※浄土宗出版での販売価格に変更がある場合がございます。



浄土宗人権教育シリーズ 1

『平等へのめざめ』

平成 18 年 11 月発刊

(A5 版 291 ページ ¥1,430 税込)

※4部 15章構成

第一部 「部落史」に学ぶ

第二部 仏教の歴史と人間観の変容

第三部 釈尊と法然の教え

第四部 仏教教団の過誤と差別へのめざめ



浄土宗人権教育シリーズ 2

『社会がなした病 ハンセン病差別と仏教』

平成 19 年 5 月発刊 (山本正廣師著)

(A5 版 96 ページ ¥660 税込)

※2章構成

第一章 誤解されているハンセン病

第二章 日本人のハンセン病観の形成



浄土宗人権教育シリーズ 3

『仏教における女性観』

平成 19 年 8 月発刊 (伊藤唯真師著)

(A5 版 71 ページ ¥660 税込)

※3章構成

第一章 インド・中国の女性観

第二章 日本仏教での女性観

第三章 法然上人の「女人往生」思想



浄土宗人権教育シリーズ 4

『法然上人の人間観』

平成 20 年 9 月発刊 (丸山博正師著)

(A5 版 78 ページ ¥660 税込)

※3章構成

第一章 法然上人の文献

第二章 教義は『選択集』

第三章 み教えから探る人間観



浄土宗人権教育シリーズ 5

『業を見すえて』

平成 25 年 9 月発刊

(A5 版 179 ページ ¥990 税込)

※4章構成

第一章 仏教の業思想

第二章 日本の業思想

第三章 法然上人と業

第四章 まとめ

Q&A ほか



浄土宗21世紀  
人権アピール

あなたとわたし  
ちがうからステキ  
出会えてよかった  
あなたのいのち  
わたしのいのち

令和7年12月

発行 浄土宗人権センター